

# 土と石で描く 松阪 板絵・日本画展

2022年5月13日(金)～25日(水)

10:00～18:00 ※木曜休廊(5/19は休廊)

会場: ギャラリーMOS

〒515-0083 三重県松阪市中町1870 松本紙店2F

30年間、自然の土や石のみで描いてきました。阿武隈山地の白い石、松島の浜砂、明石の浜砂などは、明るい色になります。

各地の赤い土、千葉の一宮の浜砂、竹炭などを特に細かく粉にして、自身で散髪した細い筆で、毛並みをチコチコと表現する工夫をしています。

感染症予防対策をしてお待ちしております



[www.matsumotokamiten.com](http://www.matsumotokamiten.com)

〒515-0083 三重県松阪市中町1870 松本紙店2階

TEL:0598-21-0603

左: 板絵「みのりつつむ」 H27×W16cm(部分) くるみ材  
中: 板絵「つつまれて舞う」 H40×W17cm(部分) ヒノキ材  
右: 板絵「西の空をみる」 H26×W44cm(部分) ナラ材

第143回 若(つちといし)展 福井 安紀 個展





板絵「ふたり」H17×W41cm(全体)

同時開催

トークショー「話します会」

2022年5月14日(土)・22日(日)

18:00~20:00

どなたでも参加OK 参加費無料

活動を継続・展開するためのポイントをお話します  
(活動方法、価格、お金、生活のことも含めて)

- 1 「自分の作品を複数求めてくれるお客さんを30人つくったら食べていける。」とは。
- 2 お客さんがお金を出してくれている対象とは。
- 3 企画展と自主展、両方大切。(公募の賞は、それほど重要でない)
- 4 地下アイドルの活動を参考にしている。

自身が、未熟なのは承知の上で、絵の制作で生活している自身の経験に基づき、率直に話します。どうぞよろしく願っています。 つちといし福井安紀

# 土と石を粉にして絵具をつかって、描いています。

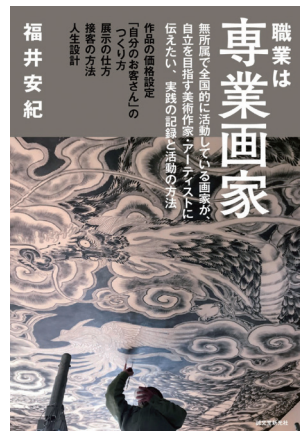


板絵「みつめる」H18×W26.5cm(全体)

自身の活動方法を本にまとめる機会をいただきました。  
「職業は專業画家」というタイトルで、誠文堂新光社さんから出版されます。

魅力的な作品をつくる作家さんが、創作活動に専念して生活できるようになることを願って、自身の活動の考え方をお金やお客さんのことも含めて、率直に記しました。  
もし、自立をめざす作家さんにご紹介いただけましたらありがたいです。

著・福井安紀



作家略歴

- 1970年 京都府生まれ
- 1991年 土と石で描きはじめる、日展に入選
- 2013年 高砂神社能舞台・鏡板の松を制作(高砂市)
- 2020年 老舗鰻屋「鰻のえびや」のふすま絵制作(会津若松市)
- 2021年 明和町の「光雲寺」の天井に龍を描く(三重県明和町)
- ふすま絵プロジェクト主宰
- 個展、142回(京都、東京、名古屋、神戸、仙台、福岡、福島など)



福井安紀 (さだのり)

〒611-0021 宇治市宇治里尻 9-10 TEL : 0774-21-7115

e-mail : fookart@yahoo.co.jp

http://tuchitoisi.web.fc2.com

FUKUI SADANORI 9-10 uji-satojiri Uji-city Kyoto JAPAN

第143回 若(つちといし)展 福井安紀 個展



太古に絵を描いた人の気持ちを追体験するために自然の土と石から自家製の絵具を作って描く活動をしています。  
今まで、全国の25の街で個展を行ってきました。  
松阪市は、はじめてです。みてもらえたらうれしいです。

2022年5月13日(金)~25日(水)

10:00~18:00 ※木曜休廊(5/19は休廊)

会場:  [www.matsumotokamiten.com](http://www.matsumotokamiten.com)



松坂城  
松阪駅  
JR・近鉄  
桑名三重信金  
柳屋泰善  
和田金  
津

■松阪駅西口から徒歩7分

松本紙店  
〒515-0083 三重県松阪市中町1870 松本紙店2階  
TEL:0598-21-0603

